

機構では、我が国の高等教育機関や評価機関との連携によって、大学等の情報や高等教育の質保証に関する情報、及び大学等における学習の機会に関する情報を収集・整理・提供するとともに、各機関と共同で質保証に関わる人材の能力向上のためのプログラムを開発しています。とくに、大学に関わる情報については、大学ポータルを運用して国公立大学の教育情報を公表・活用する仕組みを提供しています。また、国立大学法人の運営基盤の強化の促進を図るために必要な情報の収集及び分析、その結果の提供を行っています。さらに、国内外の質保証機関等との連携によって、国際社会における我が国の高等教育への信頼を維持し高めることに努めています。

大学等に関する情報の収集・整理・提供

● 機構の評価事業及び学位授与事業に関する情報の提供

機構の評価事業及び学位授与事業に関する情報を、ウェブサイトで積極的に発信しています。評価事業に関しては、平成17年度以降に機構が行った認証評価、選択評価、国立大学法人における教育研究に関する評価、平成12年度から14年度着手の試行的評価に係る全評価報告書等を掲載しています。また、学位授与事業に関しては、機構の学位授与制度の概要、学位授与申請・試験に関する情報等を掲載しています。さらに、「機構ニュース」（広報誌）では、機構の評価活動に関する最新状況、大学評価に関するイベントの案内等を随時掲載しています（毎月更新）。

● 大学等の教育研究活動等の状況に関する情報の収集・整理・提供

大学等における評価活動や教育研究活動等の改善に資するため、教育研究活動等の状況に関する情報等を収集・整理し、提供しています。

大学基本情報 (<https://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>)

国公立大学・短期大学から提供された基礎的な情報を蓄積し、大学・短期大学関係者及び高等教育に関心のある第三者の利便に供するよう、ウェブサイトで公開、データを提供しています。

掲載年度 平成24年度データから提供開始

主な掲載項目

- 学生数
- 教員数
- 学校施設に関する情報
- 学生の卒業後の情報

● 大学質保証フォーラム（令和2年度）

機構では、大学等の質保証に携わる人材の育成を図り、日本の高等教育への質保証文化の定着を図るために、毎年「大学質保証フォーラム」を開催しています。

テーマ：東京規約と学びの多様性—資格承認の転換期

開催日：令和2年9月23日（水）

形式：オンライン開催

参加者：約470名

概要：令和2年度の大学質保証フォーラムでは、ユネスコの「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約」及び「高等教育の資格の承認に関する世界規約」の理念を共有した上で、海外の教育制度の違いを乗り越える資格承認の事例や課題、国内情報センターの役割等について理解を深め、また、資格承認を取り巻く加速度的な国際的展開や、予測困難な環境変化に柔軟に適應することの重要性が明らかとなったポストコロナにおいて、日本はどのように対応すべきかについて議論が行われました。基調講演では、海外からの登壇者が、学びの形態の柔軟性・多様性が加速する中において、学習成果に基づいて単位・資格の承認をすることや、共通の枠組みに基づいて評価することが重要であると強調しました。また、国内パネリストより、東京規約を踏まえた制度整備、企業におけるグローバル人材の評価、高等教育機関の資格承認に関する期待や課題等に関する発表があり、盛況のうちに閉会しました。

大学質保証フォーラム（令和2年度）の開催概要は、次の URL より閲覧できます。

<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/forum/>



●大学ポートレート

大学ポートレートは、データベースを用いた国公立大学の教育情報を公表・活用する仕組みとして、大学団体及び認証評価機関等による自主・自律的な取組として構築が進められてきたもので、平成27年3月より国公立全体の教育情報の公表を開始しました。

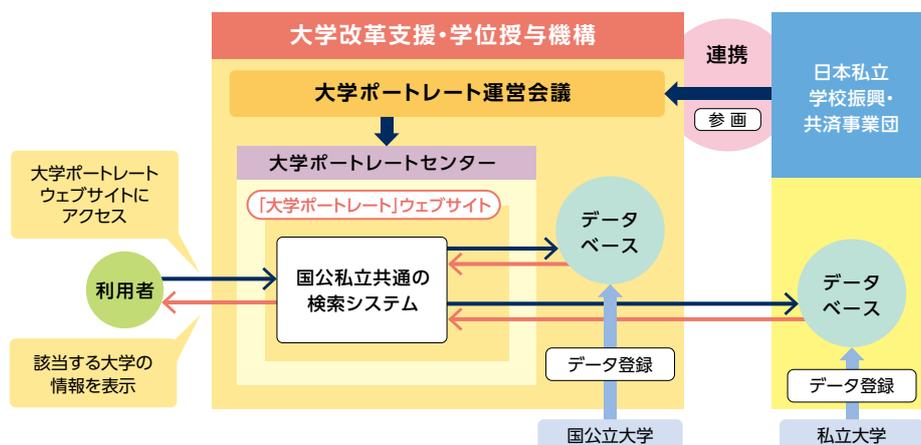
大学ポートレートの目的

- ・大学の多様な教育活動の状況を、わかりやすく発信することにより、大学のアカウンタビリティの強化、進学希望者の適切な進路選択支援、我が国の高等教育機関の国際的信頼性の向上を図ります。
- ・大学が自らの活動状況を把握・分析するために教育情報を活用することにより、内部質保証による大学教育の質的転換の加速を図ります。
- ・共通の定義により基礎的な情報を収集・公表することにより、各種調査等への対応に係る大学の負担軽減を図ります。

大学ポートレートの情報収集・公表体制

大学ポートレートの運営に関する重要事項について審議する「大学ポートレート運営会議」が機構に設置されています。国公立共通の取組に係るプラットフォームの提供及び国立大学の情報の取扱いは機構が担い、私立大学の情報の取扱いは日本私立学校振興・共済事業団が担当していますが、大学ポートレートの運用にあたっては相互に連携・協力を行っています。

また、機構の大学ポートレートセンターでは、大学ポートレート運営会議が決定した運営方針等をもとに、大学情報の収集・管理・公表・活用等に関する業務を行っています。



大学ポートレートによる教育情報の公表

大学ポートレートでは、大学の教育情報をウェブサイト (<https://portraits.niad.ac.jp/>) で社会に公表しています。また、平成30年10月より、国際発信版ウェブサイト (<https://jpcup.niad.ac.jp/>) を公開し、国立の大学・短期大学の教育情報を英語により公表してきましたが、中国語を母語とする留学希望者等が利用しやすくなるよう、令和2年12月より中国語による公表も開始しました。各大学の個性・特色や教育の内容等を把握するために、大学進学希望者をはじめ、政府、産業界、大学等の関係者が広く活用することが期待されています。



大学ポートレートの教育情報の活用

大学ポートレートに蓄積されたデータを活用して、各種の分析によって大学の教育研究の質の向上のための基礎となる情報を得られるように、教育情報の活用を図っています。

● 国立大学法人の運営基盤の強化促進支援

機構では、国立大学法人の運営基盤の強化促進を支援するため、大学等と協働し必要な情報の収集・整理・分析を行い、成果を提供しています。

国立大学附属病院経営分析ワークショップ

概要：平成28年度から病院経営改革を推進し得る人材及びデータを基に経営分析を行うことのできる人材の育成を目的として国立大学法人の事務職員を対象に一般社団法人国立大学病院長会議と機構が連携して開催しています。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止。令和3年度はオンラインにて開催予定。

【令和元年度開催実績】

開催日：令和元年10月31日（木）～11月1日（金）

参加者：48名

病院経営次世代リーダー養成塾

概要：平成29年度から次世代の病院執行部を担う人材の育成を目的として、事務職員からの説明等をもとに的確な経営判断に参画出来るよう、医師、歯科医師、メディカルスタッフを対象に一般社団法人国立大学病院長会議と機構が連携し隔年で開催しています。

※令和3年度はオンラインにて開催予定。

【令和元年度開催実績】

開催日：令和2年2月17日（月）

参加者：69名

国立大学法人の財務

各国立大学法人の財務諸表等について集計・分析を行い、各国立大学法人が財務・経営改善の検討を行う際の参考情報を提供する目的で、各国立大学法人向けに平成17年度から毎年度作成しています。

また、各国立大学法人の主要な情報を「基本情報」「財務情報」「財務指標等」の共通フォーマットで記載した「国立大学法人の財務（大学別概要）」をウェブサイト (https://www.niad.ac.jp/support/university_finance/) で平成28年度版より公表しています。



● 高等教育資格承認情報センター (NIC-Japan)

機構は、ユネスコの「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約（通称：東京規約）」に基づく日本公式の国内情報センター（NIC）として、令和元年9月1日に「高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）」を設置しました。

日本の高等教育資格の国際通用性の確保と、諸外国との円滑な資格の承認に貢献することを目的として、同センターは以下の業務を実施しています。

- ・日本の高等教育制度・資格に関する情報提供
- ・東京規約締約国を主とした外国の教育制度・資格に関する情報提供
- ・諸外国の国内情報センター等との連携
- ・各種調査研究

高等教育資格承認情報センター (NIC-Japan)
専用ウェブサイト

<https://www.nicjp.niad.ac.jp/>



日本の教育制度・資格情報（日・英）、日本の高等教育機関の検索（日・英）、外国の教育制度・資格に関するリンク集など、各種の情報提供を行っています。

● 諸外国の高等教育質保証動向等に関する情報発信

機構では、諸外国における高等教育や質保証の動向に関する情報収集を行っています。これらの情報は、さまざまな機会を通じて発信し、また、高等教育機関における質向上のための取組支援や機構の新事業の展開などに活用しています。

インフォメーション・パッケージ



機構は、日本及び諸外国の高等教育制度・質保証制度に関する基本情報をまとめた「インフォメーション・パッケージ」を高等教育関係者に広く発信しています。《パッケージ収録物》

- ・高等教育に関する質保証関係用語集（日英併記）
- ・各国の高等教育分野における質保証システムの概要（日・一部英）
- ・大学機関別認証評価に関する資料（実施大綱・評価基準・自己評価実施要項の分析留意点等）（英）

「高等教育・質保証システムの概要」については、日本、米国、英国、フランス、ドイツ、オランダ、オーストラリア、中国、韓国、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、台湾、香港、スリランカ、ネパールの各版を作成・公開しています。これらの資料は、日本の高等教育機関が国際展開を行う際に、日本の高等教育質保証のシステム等について、相手機関との相互理解の促進に役立てていただくものです。なお、電子版は下記の「国際連携ウェブサイト」に掲載しています。

国際連携ウェブサイト (<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/>)



高等教育・質保証動向について発信するため、機構ウェブサイト内で「国際連携ウェブサイト」を運営しています。

主なコンテンツ

各国・地域の高等教育・質保証の基本情報

インフォメーション・パッケージ

大学質保証フォーラム

(独立したウェブサイト)

高等教育質保証の海外動向発信 QA Updates -International
<https://qaupdates.niad.ac.jp/>



海外の高等教育質保証の最新動向に関する記事をタイムリーに掲載しています。

● 大学等における各種の学習機会に関する情報の収集・整理・提供

高等教育段階の生涯学習を促進するため、大学における科目等履修の機会や、各種の高等教育レベルの学習の機会に関する情報等を収集し、学習者や高等教育機関及び研究者に対して提供しています。

『科目等履修生制度の開設大学一覧』

機構が行う「短期大学・高等専門学校卒業業者及び専門学校修了者等への学位授与」事業においては、基礎資格を有する者に該当した後の単位の修得は必須の要件です。単位修得のひとつの方法は大学における科目等履修生制度によるものです。機構では、大学における科目等履修生制度の開設状況について、平成4年度以来、各大学を通じて調査し、その結果を公表しています。最新版は、次のウェブサイトで参照することができます。また、機構の学位授与事業に関して、科目等履修生に対し特別なプログラム等を設けている大学の紹介も行っています。

https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/kamokutou/



『独立行政法人大学改革支援・学位授与機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧』

基礎資格を有する者に該当した後に修得すべき単位は、上記に記載した、大学における科目等履修生制度を利用するほか、機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科においても修得することができます。機構では、これら認定専攻科に関する各種情報について、平成5年度以来、各短期大学及び高等専門学校を通じて調査し、その結果を公表しています。最新版は、次のウェブサイトで参照することができます。

https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/senkouka.html



『学位に付記する専攻分野の名称』

機構では、我が国の学位制度に関する調査研究及び情報提供を行うため、我が国の大学で授与される学位に付記される専攻分野の名称を調査しています。令和元年度の状況の調査結果は次のウェブサイトで公表しています。

<https://www.niad.ac.jp/publication/gakui/meishou.html>

また、この調査結果は、『大学評価・学位研究』に適宜、掲載されています。



| 質保証人材の能力開発のための取組

● 質保証に関わる研修プログラムの開発

機構では、大学等における内部質保証に代表される高等教育機関による主体的な質の維持向上のための活動を支援するため、大学や評価機関と共同で、質保証事業に従事する関係者等を対象とした研修会やセミナーを実施することにより、高等教育の質保証に関わる人材の能力向上に努めています。

● 大学質保証ポータルサイトの運営

大学等における教育研究の質保証に関する情報を広く提供することを目的として、「大学質保証ポータル」を運営しています。大学等の質保証に関する基礎資料や、質保証に関わる人材育成の研修教材など、「質保証」の理解に資する情報の発信に取り組み、今後さらにコンテンツの充実を図ることとしています。



大学質保証ポータル (<https://niadqe.jp/>)

| 国内外の質保証機関等との連携

● 認証評価機関連絡協議会

我が国の認証評価機関14機関により組織される認証評価機関連絡協議会に参画し、他の認証評価機関との連携を図っています。同協議会では、我が国の高等教育の質の保証と認証評価の充実に向けた協力体制によって、相互の連携及び情報の共有を促進し、評価結果や大学等の優れた取組等の情報の積極的な発信や職員研修の実施に取り組んでいます。



「認証評価機関連絡協議会ウェブサイト」
<https://jncaea.jp/>

● 海外の質保証機関等との連携協力

機構は、諸外国の質保証機関等との間で連携協力の覚書を交わし、機関訪問やスタッフ交流等による人材交流を図るほか、共同プロジェクトの実施やセミナーの共同開催等を通じて、日本の高等教育の質保証活動の改善に資するよう、努めています。また、高等教育質保証機関の国際ネットワーク（INQAAHE）、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）、米国高等教育ア kredィテーション協議会国際質グループ（CIQG）及びアジア太平洋国内情報センターネットワーク（APNNIC）に加盟し、ネットワークを通じた相互理解の促進や、優れた取組の共有を図っています。

〔大学改革支援・学位授与機構の覚書締結機関〕

欧米	アジア/大洋州
英国高等教育質保証機構（QAA）	中国教育部高等教育教學評価センター（HEEC）
オランダ高等教育国際協力機構（Nuffic）	香港學術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）
オランダ・フランダースア kredィテーション機構（NVAO）	韓国大学教育協議会韓国大学評価院（KCUE-KUAI）
フランス研究・高等教育評価高等審議会（HCÉRES）	マレーシア資格機構（MQA）
ドイツア kredィテーション協議会（GAC）	インドネシア国立高等教育ア kredィテーション機構（BAN-PT）
イタリア學術移動・同等性情報センター（CIMEA）	台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT）
	オーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA）
	タイ全国教育水準・質評価局（ONESQA）

● 日中韓質保証機関連携

機構は、中国・韓国の質保証機関と「日中韓質保証機関協議会」を組織し、「キャンパス・アジア」（日中韓三カ国の政府による質の保証を伴った学生交流を推進する構想）の質保証の取組をはじめ、共同のプロジェクトを実施しています。欧州における「エラスムス・プラス」プロジェクトをはじめ、大学間の国境を越えた教育プログラムの提供とその質保証の取組が世界各地で展開されているなか、日中韓の質保証機関による共同の取組の成果を広く発信することで、東アジア地域全体の大学間交流、知的人材育成に貢献することを目指しています。

「キャンパス・アジア」モニタリングー日中韓の質保証機関による共同の質保証活動

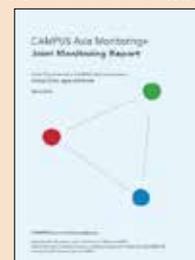
機構は、2011年より、中国・韓国の質保証機関と共同で、「キャンパス・アジア」の質保証の取組として、モニタリングの手法を開発・実施してきました。モニタリングとは、ダブル・ディグリー等の国際共同教育プログラムの現状を把握し、教育の質の観点から優良事例を抽出して国内外に広く発信する活動です。日中韓の質保証機関による共同のモニタリング活動の功績が認められ、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）の国際アワード「APQN Quality Award 2018」を受賞しました。

これまでに「キャンパス・アジア」の大学間交流プログラムに対して、2013年、2015年、2018-2019年に3度のモニタリングを実施しました。これらの結果は、国内外の大学等において国際的な共同教育プログラムを企画・運営する際の参考にしていただくため、共同モニタリング報告書（優良事例集）やモニタリングのための共同ガイドライン『Joint Guidelines for Monitoring International Cooperative Academic Programs in CAMPUS Asia』として、国内外に広く発信しています。これらの成果資料は「キャンパス・アジア」モニタリング・ウェブサイトにてご覧いただけます。



https://www.niad.ac.jp/n_kokusai/campusasia/

モニタリング+ 共同モニタリング報告書



3度目のモニタリングとして2018-2019年に実施した「モニタリング+（プラス）」で得られた、国際共同教育プログラムに求められる質的要素や優れた取組を豊富に収録しています。